

第7回 大宮グランドセントラルステーション推進会議 合同部会
(第17回基盤整備推進部会・第15回まちづくり推進部会) 主なご意見等

開催日時：令和元年7月3日（水）14:30～16:30

開催場所：市民会館おおみや 第3～第5集会室

出席者：

選出区分	役職等
学識経験者	埼玉大学 大学院理工学研究科 教授 久保田 尚
学識経験者	東京大学 工学部都市工学科 教授 窪田 亜矢
鉄道事業者	東日本旅客鉄道 総合企画本部 投資計画部 課長 計画調整グループリーダー
鉄道事業者	東日本旅客鉄道 大宮支社 企画室長
鉄道事業者	東武鉄道 経営企画本部長（代理）
鉄道事業者	東武鉄道 鉄道事業本部 計画管理部長
鉄道事業者	東武鉄道 鉄道事業本部 改良工事部長
鉄道事業者	埼玉新都市交通 代表取締役常務
交通事業者	埼玉県乗用自動車協会 会長
交通事業者	埼玉県バス協会 専務理事
交通事業者	東武バスウエスト 取締役 運輸統括部長
交通事業者	国際興業 運輸事業部長
交通事業者	西武バス 運輸計画部 計画課長（代理）
地元まちづくり団体	大宮駅東口駅前南地区まちづくり推進協議会 会長
地元まちづくり団体	大宮駅東口駅前南地区まちづくり推進協議会 副会長
地元まちづくり団体	大宮駅東口西地区まちづくり推進協議会 会長
地元まちづくり団体	大宮駅東口西地区まちづくり推進協議会 理事（代理）
地元まちづくり団体	大門町一丁目駅前まちづくり協議会 会長
地元まちづくり団体	大門町一丁目駅前まちづくり協議会 副会長
地元まちづくり団体	大宮駅東口北地区市街地再開発準備組合 理事長
地元まちづくり団体	大宮駅東口北地区市街地再開発準備組合 専務理事
関係行政機関	埼玉県 企画財政部参事兼交通政策課長
関係行政機関	埼玉県警察本部 交通部 交通規制課 課長補佐（代理）
関係行政機関	さいたま市 都市局 都市計画部長
関係行政機関	さいたま市 都市局 都心整備部長
関係行政機関	さいたま市 大宮区 区民生活部長（代理）
デザイン コーディネーター	アーバンデザインセンター大宮 副センター長

■今年度の検討内容及びスケジュールについて 【⇒事務局からの回答】

・まちづくりガイドラインの検討については、スケジュールに記載のない会議体での協議も重要だと思う。各地区の検討内容とさいたま市の GCS プランに食い違いがないよう、緻密にコミュニケーションがとれるようにしてほしい。

⇒現在、市は各事業者との個別の協議も行っている。検討の深度化を図るために、部会等の回数やスケジュールに関しては検討する。

・資料の記載として、UDCO がカッコ書きになっている。これまで全体のマネジメントをしていたUDCO がガイドラインを作るところに大きな特徴があるし意味があると思う。そのように流れていくという理解でよいのか。

⇒UDCO には、過年度は業務として発注させていただいていたが、本年度はまだそのような体制が整っていないためカッコ書きになっている。

■まちづくりガイドラインの検討状況について

・地元協議の結果をどのようにオーソライズするのか、事務局で検討、調整して定めてほしい。GCS として、さいたま市の景観形成特定地区のような指定を目指していくのであれば、今後のデザイン調整ワーキングがより実効的なものになっていくと思っている。

⇒まちづくりガイドラインの内容を考えていく中で一緒に、組織や運用形態についても検討していきたい。

■個別整備計画について

・「駅舎と駅ビル等機能の検討エリア」と南地区が近接している。歩行者や消費者の便益を増すためにも、開発に当たっては一体化を図った計画が望ましいのではないかという意見が多数上がっている。

・西地区では5月に総会を行い、地区の中で事業区域を2つに分けることとなった。

・西地区と新東西通路の重複利用について、検討項目に入れてほしい。

・中地区としては、敷地が公共貢献として大きく取られる案になっているが、この残った敷地で我々に事業性があるのかを確かめたい。そのために11月を目途に準備組合を立ち上げ、事業協力者を得て検証していきたい。

・歩行者回遊モデルについて、有事の際のマネジメント等への活用も検討してほしい。

- ⇒回遊だけでなく滞留のボリュームや時間に関しても、今年度の検討とさせていただきます。
- ・大規模な工事が必要な地下車路ネットワークの実現性や公共的空間等検討エリアを活用した駅前広場のレイアウト変更をきちんと検討してほしい。
 - ・道路ネットワークの改良案としては、中央通り拡幅も効果的な整備だと思う。
- ⇒中央通りの拡幅については、道路ネットワークの検討メニューの一つとして考える。
- ・地下空間等を活用した共同エネルギーの導入を検討してほしい。
- ⇒共同エネルギーに関しては、まちづくりガイドラインの中にも含まれている内容なので、今年度検討を深度化していきたい。
- ・GCSは何を目的にやっているのか、明確な目標をわかりやすいように打ち出して進めてほしい。
- ⇒今年度、GCS プラン骨子案から GCS プラン案へとしていく中で、わかりやすい目標がみなさんに伝わるように努めたい。
- ・最近、新聞やインターネット等では GCS 構想の絵や動画が公開されている。それらにはすべて「イメージであり決定したことではない」と記載されているが、一般の方は整備の具体的なイメージや、決定事項として受け取る可能性が高いと思う。
- ⇒現在公開しているイメージパース等は、GCS の取組みを市民の皆様にはわかりやすく伝え、様々なご意見を頂戴するために行っている。
- ・資料の中の「鉄道事業者未調整」という標記のとおり、鉄道事業者としての意図が正しく伝わらない絵が提示されている。
 - ・現ルミネはビルの厚さがなく、大宮に求められているようなオフィス・ホテルなどは建てられない。厚みのある駅ビルが建てられるのであれば、現ルミネの空間は公共的な空間として使われてもよいと思っている。
- ⇒打ち合わせを通してご意見をいただいているが、資料として十分に反映できていないことは理解している。今後は鉄道事業者と調整をしっかりと図りながら、整理できたものを提示していきたい。
- ・外部に公開されていく際には相当慎重にならないといけないが、部会や合同会議の中での資料についてはむしろ未調整の中でご意見をいただけるということも許容していくべきだと思う。
- ・駅改良計画については、新東西通路の位置と幅員の具体的な検討を進め、事業

スキーム、役割分担、まち側へ出る改札設置の要否等について市と鉄道事業者で調整が必要である。

- ・タクシーの乗車バース数については3台分を求めている。再検討してほしい。
- ⇒交通広場のレイアウト検討の中でさらに精査して検討していきたい。
- ・交通広場はもっと縮小できないかという話もあったが、安全面を考え、大きなバスが入る余裕のある敷地を提供してもらいたい。
 - ・駅とのアクセスが良く利便性が向上するのであれば、バスバースは地上でも地下でもよいと思っている。
 - ・バスは安全が第一だと思う。また、バス停が駅から離れては利便性が損なわれるので、駅直近で検討してほしい。
 - ・歩行者回遊モデルが出てきて、来訪者や利用者が安全に、かつ都市ならではの楽しさをいかに享受できるかが、この事業の価値判断の基準になると感じている。歩行者回遊のシミュレーション結果とGCS構想で掲げた大宮駅東口のまちのあり方の整合が図れることが望ましいので、そういった議論ができるように資料等を準備してほしい。
 - ・今年度も皆さんと一緒に議論していい成果を上げたいと思っている。よろしく願います。

以上